

# ロマンス語語彙におけるゲルマン語の通時的影響

— 10世紀までのロマンス語語彙と古英語 —

上野 貴史

【キーワード】ロマンス語、ゲルマン祖語、ゴート語、古フランク語、  
ランゴバルド語、古ノルド語、古英語、語彙論

## 1. はじめに

西ヨーロッパとアフリカの一部という広大な地域を支配していたローマ帝国は、395年に東西に分裂した後、5世紀からゲルマン民族の侵入を被り<sup>1)</sup>、476年に西ローマ帝国は崩壊する。言語的には、ローマ帝国の様々な地域で話されていた口語ラテン語である俗ラテン語 (Vulgar Latin: V.Lat.) は、ゲルマン語との接触を受けながら、各ロマンス語に分化していく<sup>2)</sup>。しかし、このような他言語族からの影響は、西ローマ帝国崩壊から始まったわけではなく、元々小さな農民の集落に過ぎなかったラテン民族が話していたラテン語 (Lat.) では、帝国の発展と共に、多くの他国の語彙を吸収しながら発達してきたことも事実である。本稿では、ある意味、言語的に吸収力のあるラテン語 (ロマンス語) が、各ロマンス語に分化していく過程において、その地を支配するゲルマン系民族の言語によってどの様に影響が与えられたかを語彙面に関して明らかにすることを目的としている。特に、10世紀頃までの間に、基層であるロマンス語にどの程度ゲルマン語との言語接触があり、それが現代語としてどのように残存しているかを考察する。

現在、ロマンス語とされるものには、国家単位として、フランス語 (F)・スペイン語 (S)・ポルトガル語 (P)・イタリア語 (I)・ルーマニア語 (R) がある。これらのロマンス語は、各ロマンス語で多くの共通する点が見られるが、系統的には、イタリアにおけるラ・スペツィア＝リミニ線 (Linea La Spezia-Rimini) で示される北西と南東部分で二分し、北西に当たる北イタリア諸方言・フランス・スペイン・ポルトガルを西ロマンス語<sup>3)</sup>、南東に当たる中南イタリア諸方言・ルーマニアを東ロマンス語と大きく分けることが可能である<sup>4)5)6)</sup>。この西ロマンス語に属するフランス語語彙が、1066年のノルマン・コンクエスト (The Norman Conquest of England) を期に、古英語の中に大量に流入していくわけであるが、この流入したフランス語には元々ゲルマン語起源とする語彙も含まれていることになる。この英語の中へのゲルマン語の流入に関しても、どの様な語が現代語で残存しているかについて触れていくことにする。

なお、分析データとしては、各ロマンス語史における先行研究においてゲルマン語からの借用とされている語彙を取り上げ、その cognate (同根語) を調査するという手法をとることとする。

## 2. ロマンズ語における他国語の影響

10世紀までに各国を支配していた民族に関して、簡略にまとめたものが<表1>となる。

<表1：10世紀までのロマンス語圏>

ポルトガル	スペイン	フランス	イタリア	ルーマニア
アクイタニア (バスク)・イベリア・タルシア  BC7C：ケルト人 BC197：ローマイベリア半島征服		アクイタニア (バスク)・イベリア  ・リグリア  BC7C：ケルト人(ガリア)  BC58-50：ローマガリア征服	ラテン・エトルリア・ギリシア  BC753：ローマ建国  1C：ゲルマン語の影響	ゲダイ・ダキア  106-124：ローマダキア征服 271-4C：ゴート人
395：ローマ帝国東西分裂				
476：西ローマ帝国滅亡				
409-711：西ゴート王国 (ゲルマン族)  589：西ゴート人キリスト教に改宗  711-1031：アラブ人	481-886：フランク王国 (ゲルマン族)  5C：アラマン族 (東部)  (ゲルマン族)  9C：スカンジナビア民族  (古ノルド語)	497-553：東ゴート王国 (ゲルマン族)  553-568：東ローマ帝国 (ギリシア語)  568-774：ランゴバルド王国 (ゲルマン族)  774-886：フランク王国 (北部)  (ゲルマン族)  827-1091：アラブ (シチリア)	5C：ゲピド人 (ゴート族)  6C-8C：アヴァール人  -1000：ブルガール人  (テュルク系)	

イベリア半島にあるポルトガルとスペインにおいては、紀元前7世紀頃からケルト語を使用する民族が定住し、紀元前197年にローマがイベリア半島を征服してからラテン語化することになる。紀元後3世紀末頃からゲルマン民族の侵入を受け、409年には西ゴート王国となり、この間ゲルマン語と言語接触をすることになるが、589年に王国がキリスト教に改宗することにより、ゲルマン語の影響は弱まることになる。それ以上に、イベリア半島は、その後のアラブ人の支配

により、アラビア語の影響を強く受けることになるが、アラブ人による支配の後の13世紀になって、プロヴァンス語・フランス語・ラテン語から語彙を借用したため、再びロマンス語化されることになる。このため、10世紀までのポルトガル語とスペイン語のゲルマン語の影響は、ゴート語だけから直接受けることになる。

フランスのガリア地域においては、紀元前7世紀頃は、ケルト語（ガリア語）を使用していたが、紀元前58年から50年にかけてのローマによるガリア征服からラテン語化が始まることになる。西ローマ帝国が滅亡した後は、ゲルマン系のフランク王国（481-886）による古フランク語の影響を強く受ける。その後、9世紀になってスカンジナビア民族がノルマンディーに侵入し、やはりゲルマン系の古ノルド語と言語接触をする。

次に、元々印欧語を使用していたとされるダキア地域のルーマニアは、ローマによって106-124年に征服されるが、その支配は約200年程度しかなく、その後は、ゲルマン系のゴート族に支配されることになる。これ以降、ルーマニアは、ロマンス語との接触はほとんどなく、テュルク系のブルガール人やスラブ系の影響を受け続けるため、直接ゲルマン語を借用しているものは見つかからない。18世紀に入ってようやく、ラテン語、イタリア語を利用した造語やフランス語からの借用により、ロマンス語の語彙が使用されるようになり、これらにゲルマン語を祖語とする語彙が見られることになる。

最後に、イタリアは、ローマ建国以来、周辺の言語を吸収しながら、大帝國へと発展していく。すでに、紀元後1世紀頃にはゲルマン語の影響も受けていたが、ゲルマン語の強い影響をうけるのはやはり西ローマ帝国崩壊後となる。まず、497年には東ゴート王国というゲルマン民族の支配を受け、その後少しの期間、東ローマ帝国に支配されるが、それ以降は、ランゴバルド王国（568-774）、フランク王国（774-886）と連続してゲルマン系民族に支配されることになる。

以上、10世紀までにロマンス語が直接影響を受けたゲルマン語についてまとめたものが(1)となる。

(1) ゴート語 (Got.) : ポルトガル・スペイン・フランス・イタリア・(ルーマニア)

古フランク語 (O.Fra.) : フランス・スペイン

ランゴバルド語 (Lan.) : イタリア

古ノルド語 (O.Nor.) : フランス

言語系統的には、ゲルマン語は、東、北、西の三つの語群に分類することが可能となる。(1)で示したゲルマン語の内、ゴート語とランゴバルド語<sup>7)</sup>は、東ゲルマン語群に属し、現在ではいずれも死語となっている。フランク王国で使用されていたとされる古フランク語は、現代のオランダ語の祖先となる言語であり、西ゲルマン語群に属する。また、フランスにおいて9世紀頃に影響を与えた古ノルド語は北ゲルマン語に属する。このことから、ロマンス語は、ゲルマン語における東、西、北のすべての語群の影響を多寡はあるが受けているということになる。

- (2) ゲルマン祖語 (PG) — 東ゲルマン語群：ゴート語 (東ゴート王国・西ゴート王国)、  
 ランゴバルド語 (ランゴバルド王国)  
 西ゲルマン語群：古フランク語 (フランク王国)  
 北ゲルマン語群：古ノルド語

### 3. ゲルマン語起源

ここでは、ゴート語、古フランク語、ランゴバルド語、古ノルド語という言語別に、語源が明らかなものから同根語のセットを考察していく。

#### 3.1. ゴート語起源

ゴート語に関しては、イベリア半島が西ゴート、そしてフランス・イタリアが東ゴートの影響を直接受けることになる。その語彙がゴート語の影響であるかどうかは、ゴート語で4世紀に書かれたとされる聖書の翻訳などから比較言語学的手法で判断されるのが一般的であるが、現在まで残っている同根語を分析することにより、①ロマンス語全体にゴート語からの影響があるもの、②東ゴートからの影響だと考えられるもの、③西ゴートからの影響だと考えられるもの、の三つに分類することが可能であると考えられる。

##### 3.1.1 東西ゴート語から

東西ゴート語からの借用であると考えられるものの中で、すべてのロマンス語に同根語が見られるものとしては、(3) のようなものがある。

- (3) *spehōnq* (PG) > *\*spaiha*/*\*spaihōn* (Got.)/(*\*spehōn* (O.Fra.)) >  
*espia* (P); *espía* (S); *espion* (F); *spia* (I); *spión* (R) 「スパイ」

(3) はすべてゴート語起源とされる説がある一方で、Wartburg (1944) は、フランス語 *espion* が古フランス語 *espie* を通した古フランク語起源の語彙であるという指摘を行っている。この場合、イタリア語の *spia* も古フランク語起源となるが、時期的にもゴート語と古フランク語は重なることもあり、どちらを起源とするか判断が付かないものも多く見られる。

(4) は、ルーマニア語にだけ同根語が欠落しているゴート語起源の例である。

- (4) *\*bramjanq* (PG) > *bramjan*/*brammōn* (Got.) >  
*bramar* (P); *bramar* (S); *bramer* (F); *bramire* (I) 「吠える」

(5) は、現代フランス語において同根語が消失している例である。

- (5) *\*preskanq* (PG) > *priskan* (Got.) 「脱穀する」 > *triscar* (P) 「音を立てる」;  
*triscar* (S) 「足を踏みならす」; (*treschier* (OF)); *trescare* (I) 「陰謀を巡らす」

フランス語は、古フランス語における *treschier* が現代フランス語で消失し、(6) の *trépigner* 「足

を踏みならす」という異なるゲルマン語起源の語彙が現在使用されている。

(6) \*trippōn > *treper* (OF) > *trépigner* (F) 「足を踏みならす」

さらに、(5) は、ゴート語における *briskan* 「脱穀する」という意味がポルトガル語・スペイン語では「足を踏みならして音を立てる」という意味で使用されているが、イタリア語 *trescare* においては、「激しく動く」という意味は古風な意味となっており、現代イタリア語では「陰謀を巡らす」というように意味が転意している。

### 3.1.2 東ゴート語から

次に、東ゴート語から借用されたと考えられるすべての同根語がそろっているものとして、(7) のようなものを挙げるができる。

(7) \**bandwjan* (Got.) > *bandido* (P); *bandido* (S); *bandit* (F); *bandito* (I); *bandít* (R) 「盗賊」

(7) を東ゴート語からの借用と考えるのは、ポルトガル語・スペイン語・フランス語がいずれも東ゴート語の影響を受けたイタリア語からの借用であるためである。ポルトガル語・スペイン語の *bandido* は、イタリア語から借用する際、西ロマンス語の特徴である母音間の無声破裂音 [t] が有声化して [d] となっている。

(8) は、ルーマニア語における同根語が欠落している例である。

(8) \**rukkō* (PG) > (\**rokkō* (O.Fra.))<sup>8)</sup> > *rukka* (Got.) >

*rocha* (P); *rueca* (S); *rochet* (F); *rocca* (I) 「糸巻き棒」

(8) もポルトガル語 *rocha* がフランス語からの借用であるため、東ゴート語からの借用と位置づけることが可能であると考えられる。この同根語においても、東ロマンス語の二重子音 (*rocca* (I)) と、西ロマンス語の単音化 (*rocha* (P), *rueca* (S), *rochet* (F)) という特徴が見られる。

東ゴート語からの借用は、主にイタリア語で多くみられ、イタリア語だけに借用語が残っている語彙には (9) のようなものがある<sup>9)</sup>。

(9) *bega* 「つまらない喧嘩」、*corredare* 「配備する」、*corredo* 「装備」、*forra*<sup>10)</sup> 「峡谷」、*melma* 「泥」、*schietto*<sup>11)</sup> 「純粹の」、*sghembo*<sup>10)</sup> 「斜めの」、*smaltire*<sup>10)</sup> 「消化する」、*stanga* 「かんぬき」

### 3.1.3 西ゴート語から

西ゴート語を起源とするものの中で、すべてのロマンス語に同根語を持つものとしては、(10) のような例がある。

(10) *kastan/kasts* (Got.) > *casta* (P); *casta* (S); *caste* (F); *casta* (I); *cásta* (R) 「血統」

(10) は、フランス語 *caste* とイタリア語 *casta* が、ポルトガル語 *casta* からの借用ということから、西ゴート語を起源とする語彙と考えることが可能である。西ゴート語を起源とするものは、(11) のようなポルトガル語とスペイン語だけに同根語を持ち、東ゴート語に対応する同根語がないも

のが典型的なものとなる。

(11) \**broz* (PG) > \**brut* (Got.) > *broto* (P); *brote* (S) 「芽」

このように、ポルトガル語とスペイン語だけに同根語が存在するものには (12) のようなものがある<sup>12)</sup>。

(12) *agasalhar* (P)/*agasajar* (S) 「もてなす」, *amainar*<sup>13)</sup> (P/S) 「弱まる」, *ataviar* (P/S) 「着飾らせる」, *brotar*<sup>14)</sup> (P/S) 「芽吹く」, *esquilar*<sup>15)</sup> (P/S) 「刈り込む」, *fato* (P)/*hato* (S)<sup>16)</sup> 「背広」, *ganso* (P/S) 「ガチョウ」, *garbo* (P/S) 「優美」, *gaviao* (P)/*gavilán* (S) 「ハイタカ」, *parra* (P/S) 「ブドウのツル」, *sacar* 「引き出す」

### 3.2. 古フランク語起源

古フランク語は、5世紀後半からフランス、そして8世紀にはイタリアを領土とするフランク王国を通してロマンス語に影響を与えている。この古フランク語は、直接書かれた資料は残っておらず、古フランス語などから再建されたものである。すべてのロマンス語に同根語を持つ語彙としては (13) がある。

(13) a. \**bannaŋ* (PG) > \**ban(n)* (O.Fra.) > *abandoner* (OF) >

*abandonar* (P); *abandonar* (S); *abandonner* (F); *abbandonare* (I); *abandoná* (R) 「見捨てる」

b. \**dansōn* (PG) > *dancer/dancier* (OF) >

*dançar* (P); *danzar* (S); *danser* (F); *danzare* (I); *dansá* (R) 「踊る」

(13) は、*abandonner* と *dancer/dancier* という語彙が古フランス語の時代から存在し、それが各ロマンス語に拡散したものと考えられる。今回調査した古フランク語起源と思われる同根語の中で、フランス語の同根語がないものは (14) で示した5例のみという結果となっている。

(14) a) \**maganŋ* (PG) > \**magan*/\**mugan* (O.Fra.) > *esmaier* (OF) >

*desmaiar* (P); *desmayar* (S); *dismagare* (I) 「無力にさせる」

b) \**ripil* (O.Fra.) > *rifler* (OF) > *rebbio* (I) 「フォーク状の先端」

c) \**skara* (O.Fra.) > *esqueira* (OF) > *schiera* (I) 「隊列」

d) \**sinþanŋ* (PG) > \**sinn* (O.Fra.) > *sen/san* (OF) > *sien* (P); *senno* (I) 「思慮分別」

e) \**marzijaŋŋ* (PG) > \**marrijan* (O.Fra.) > *esmarrire* (OF) > *smarrir* (I) 「紛失する」

f) \**taska* (O.Fra.) > *tasca* (I); *tásca* (R) 「ポケット」

(14a-e) は、古フランス語 (a: *esmaier*, b: *rifler*, c: *esqueira*, d: *sen/san* e: *esmarrire*) には存在したが、現代フランス語でその同根語を消失してしまったものである。一方、(14f) は、古フランス語での同根語が存在しないことから、イタリア語において古フランク語が借用されたものと考えられる<sup>17)</sup>。

このように、古フランク語はフランス語に強い影響を与えているため、各ロマンス語に拡散せ

ず、(15) のように、現代フランス語にだけ残っているものが多く見られる。

- (15) *bâtir* 「建てる」, *baudet* 「ロバ」, *blaireau* 「穴熊」, *blé* 「小麦」, *blessier* 「傷つける」, *choisir* 「選ぶ」, *crapaud* 「ヒキガエル」, *déchirer* 「引き裂く」, *flétrir* 「しおれさせる」, *froc* 「ズボン吊り」, *gage* 「担当」, *gravir* 「よじ登る」, *grêle* 「ひょう」, *guêpe* 「スズメバチ」, *guère* 「ほとんど～ない」, *gui* 「ヤドリギ」, *haie* 「垣根」, *hair* 「憎む」, *hameau* 「小さな集落」, *hanneton* 「コガネムシ」, *hâte* 「急ぐこと」, *hêtre* 「ブナの木」, *housse* 「覆い」, *houx* 「セイヨウヒイラギ」, *jongler* 「曲芸をする」, *laie* 「雌猪」, *louche* 「お玉」, *mésange* 「四十雀」, *poche* 「ポケット」, *rêche* 「ざらざらした」, *roseau* 「葦」, *sale* 「汚い」, *saule* 「柳」, *souhaiter* 「望む」, *trébucher* 「つまずく」, *troène* 「イボタノキ」

### 3.3. ランゴバルド語起源

6世紀にイタリア半島にあったランゴバルド王国は、イタリアに強い影響と特徴を与えている。ランゴバルド語についても、文書としては残っておらず、中世ラテン語のテキストなどから断片的に語彙が再建される。ロマンス語のすべてに同根語を持つものには(16)のような例がある。

- (16) \**stukkijǫ* (PG) > \**stucchi* (Lan.) > *estruque* (P); *estuco* (S); *stuc* (F); *stucco* (I); *stuc* (R) 「漆喰」  
 (16) のポルトガル語、スペイン語、フランス語の同根語は、いずれもイタリア語 *stucco* からの借用となっている。今回調査したランゴバルド語起源の多くが、(17) で示すようなイタリア語だけにしか見られないものとなっている。

- (17) *baruffa* 「喧嘩」, *biacca* 「鉛白」, *bica* 「小麦の穂の山」, *federa* 「枕カバー」, *gramo* 「哀れな」, *greppia*<sup>18)</sup> 「馬草棚」, *grinfia* 「爪」, *gruccia* 「松葉杖」, *gualcire* 「しわにする」, *guancia*<sup>19)</sup> 「頬」, *imbastire* 「仮縫いをする」, *manigoldo* 「悪党」, *milza* 「脾臓」, *nappa* 「房飾り」, *nocca* 「指関節」, *ranno* 「灰汁」, *predella* 「教壇」, *russare* 「いびきをかく」, *sberleffo* 「しかめ面」, *scaffale* 「棚」, *scherzare* 「ふざける」, *scherzo* 「冗談」, *sciancato* 「足が不自由な」, *sguattero* 「皿洗い」, *smacco* 「惨敗」, *spaccare* 「亀裂を入れる」, *spalto* 「斜堤」, *spranga* 「かんぬき」, *spruzzare* 「ふりかける」, *stamberga* 「あばら屋」, *sterzo* 「ハンドル」, *stinco* 「すね」, *stormo* 「群れ」, *stracco* 「疲れた」, *strofinare* 「磨く」, *tanfo* 「悪臭」, *tonfo* 「失敗」, *tuffare* 「浸す」, *zaino* 「リュックサック」, *zanna* 「牙」, *zazzera* 「もじゃもじゃ頭」, *zecca* 「ダニ」

### 3.4. 古ノルド語起源

古ノルド語は、9世紀にフランスに影響を及ぼしたゲルマン語であるが、ロマンス語すべてに同根語を持つものとしては、(18) のようなものがある。

- (18) \**skipōnǫ* (PG) > \**skīpa* (O.Nor.) > *equipar* (P); *equipar* (S); *équiper* (F); *equipaggiare* (I); *echipá* (R) 「装備する」

(18) におけるフランス語以外の同根語は、すべてフランス語からの借用となっている。今回調査を行った古ノルド語起源の語彙は、すべて現代フランス語に残存している。この中で、フランス語だけに同根語が残っているものとして (19) のようなものを挙げるができる。

(19) *agrès* 「操帆具」, *crique* 「入り江」, *joli* 「かわいい」, *mare* 「小さな池」, *tanguer* 「縦揺れする」, *turbot* 「イシビルラメ」

このような古ノルド語は、ノルマン・コンクエストを期に、古英語に流入していくわけであるが、逆に、同時期に、古英語からロマンス語に借用されたと考えられるものとして (20) のようなものがある。

(20) \**austrą* (PG) > *ēast* (OE) > *este* (P/S); *est* (F/I/R); *east* (E) 「東」

\**nurþrą* (PG) > *norþ* (OE) > *norte* (P/S); *nord* (F/I/R); *north* (E) 「北」

\**westrą* (PG) > *west* (OE) > *oeste* (P/S); *ouest* (F); *ovest* (I); *vest*<sup>20)</sup> (R); *west* (E) 「西」

*sūþ* (OE) > *sul* (P); *sur* (S); *sud* (F/I/R); *south* (E) 「南」

\**maihwaz*/\**maiwaz* (PG) > *māew* (OE) > *mouette* (F); *mew* (E) 「カモメ」

### 3.5. 複数の起源を持つ同一同根語

西ローマ帝国崩壊後、ゴート、フランク、ランゴバルドといったゲルマン語の影響を次々と受けることになるロマンス諸語であるが、現代語においてその起源が異なると考えられる同根語のセットとして (21) のような語彙がある。

(21) \**rikijaz* (PG) > *reikeis* (Got.) > *rico* (P); *rica* (S)

> \**riki* (O.Fra.) > *riche* (F)

> \**rihhi* (Lon.) > *ricco* (I) 「豊かな」

(21) では、イベリア半島の二言語はゴート語を起源とし、フランス語は古フランク語、そしてイタリア語はランゴバルド語の起源となっており、この時期に最も影響を受けたゲルマン語が各ロマンス語における起源となっている。(21) 以外の同根語においてもこれと同じような傾向が見られ、当然ながら、その当時にその地を支配していた言語の影響が残るといった結果となっている。

(22) a. \**trewwō* (PG) > \**triggwa* (Got.) > *trégua* (P); *tregua* (S/I)

> \**treuwa* (O.Fra.) > *trêve* (F) 「休戦」

b. \**harjabergō* (PG) > \**haribaírgo* (Got.) > *albergue* (P/S); *albergo* (I)

> \**heribergôn* (O.Fra.) > *herberge* (OF) > *héberge* (F) 「避難所」

(22) のイタリア語 *tregua/albergo* は、ランゴバルド語の前にすでにゴート語から借用されているものと考えられ、同時期に古フランク語から借用したフランス語 *trêve/héberge* とは異なる経緯で借用されていると思われる<sup>21)</sup>。



#### 4. ゲルマン語起源のロマンス語と英語

最後に、高頻度で使用されるゲルマン語起源のロマンス語に関して、英語がどの様に対応しているかを検証するために、イタリア語における上位2000番までの高頻度語彙と、これに対応する英語の同根語の一覧を示す（<表2>）。

<表2：イタリア語高頻度語彙と英語の同根語>

Italian	意味	起源	頻度順位	PG	O.Fra./Got./Lan.	English	意味
<i>guardare</i>	見張る	O.Fra.	105	*wardōnq	*warda(n)	<i>ward</i>	防ぐ
<i>troppo</i>	あまりに	O.Fra.	174	*þurþq	*thorþ	þorþ (OE)	村、群れ
<i>guerra</i>	戦争	O.Fra.	207	*werrō	*werra	<i>war</i> < OF	戦争
<i>bisogno</i>	必要・仕事	O.Fra.	219		*bisunnija, *bisun(n)i		
<i>bianco</i>	白い	Lan.	309	*blankaz	*blank		
<i>attaccare</i>	つなぐ	O.Fra.	371	*stakkaz, *stakken	*stakka	<i>attack</i> < F	攻撃する
<i>albergo</i>	避難所	Got.	466	*harjbergō	*haribaírgo	<i>harbour</i>	港、寄宿
<i>buttare</i>	投げ捨てる	O.Fra.	486	*bautanq	*botan	<i>beat</i>	たたく
<i>fresco</i>	涼しい	O.Fra.	623	*friskaz	*fresk, *frisk	<i>fresh</i>	新鮮な、すがすがしい
<i>sala</i>	部屋	O.Fra.	631	*salq	*sal	<i>sæl</i> (OE)	ホール
<i>abbandonare</i>	見捨てる	O.Fra.	655	*bannanq	*ban,*bann	<i>ban</i>	禁止する
<i>guardia</i>	警備	O.Fra.	774	*wardōnq	*warda(n)	<i>ward</i> < F, <i>guard</i> < F	(古) 警備
<i>giardino</i>	庭	O.Fra.	826	*gardo	*gardin	<i>garden</i> < OF	庭
<i>scherzare</i>	ふざける	Lan.	849	*skirtanq	*skerzon		
<i>biondo</i>	ブロンド	O.Fra.	946	*blundaz	*blund	<i>blond</i> < F	ブロンド
<i>banca</i>	保管所	O.Fra.	1058	*bankiz,*banka	*bank	<i>bank</i> < MF < OI	銀行
<i>garantire</i>	保証する	O.Fra.	1141	*war	*warjan	<i>guarantee</i> < OF	保証する
<i>scherzo</i>	冗談	Lan.	1194	*skirtanq	*skerzon	<i>scherzo</i> < I	(音)スケルツォ
<i>grigio</i>	灰色	O.Fra.	1208	*grēwaz,*grisa	*gris	<i>grey</i>	灰色
<i>guarire</i>	直る	O.Fra.	1299	*warjanq	*warjan	<i>wear</i>	(方) 守る
<i>fornire</i>	支給する	O.Fra.	1313	*frumjanq	*furmjan, *frunjan	<i>furnish</i> < OF	供給する
<i>spia</i>	スパイ	Got.	1419	*spehōnq	*sphaiha	<i>spy</i> < OF	スパイ
<i>palla</i>	弾丸	Lan.	1456	*ballō,*balluz	*palla,*balla	<i>ball</i>	玉
<i>stoffa</i>	布地	O.Fra.	1460	*stupþōnq	*stopþon	<i>stuff</i> < OF	織物
<i>bruno</i>	ブラウン	O.Fra.	1623	*brūnaz	*brun	<i>brown</i>	ブラウン
<i>blu</i>	青い	O.Fra.	1626	*blēwaz	*blewu	<i>blue</i>	青い
<i>truppa</i>	部隊	O.Fra.	1654	*þurþq	*thorþ	<i>troop</i> < F	部隊
<i>schiena</i>	背中	Got.	1658	*skinō	skēna	<i>shin</i>	向こうずね
<i>parco</i>	公園	O.Fra.	1727	*þarrukaz	*þarrik	<i>park</i> < OF	公園
<i>schifo</i>	小型ボート	Lan.	1946	*skipq	*skif	<i>ship</i>	船
<i>foresta</i>	森林	O.Fra.	1969	*furhō,*furahō	*forhist	<i>forest</i> < OF	森林

<表2>は左から「イタリア語」、その「意味」、「ゲルマン語の起源」、「頻度順位<sup>22)</sup>」、「ゲルマン祖語形態」、「各ゲルマン語形態」、そしてそれに対応する「英語」とその「意味」を記している。例えば、最も頻度順位の高いイタリア語 *guardare* 「見張る」は、古フランク語を起源とし、頻度辞典では105位であり、ゲルマン祖語で *\*wardōnq*、古フランク語で *\*warda(n)* と再建され、これに対応する英語の同根語が *ward* 「防ぐ」であるということを示している。上位2000番までのイタリア語は31語見られ、古フランク語起源が23例、ランゴバルド語起源が5例、ゴート語起源が3例、となっており、古フランク語起源が多いながらも、イタリア語と言語接触をしたゲルマン語がそれぞれ高頻度語彙に入っていることになる<sup>23)</sup>。

西ゲルマン語群に属する英語は、これらのイタリア語31語に対する同根語を28語持っていることになる<sup>24)</sup>。この中で、1066年のノルマン・コンクエスト以降に古英語に流入したと考えられる語彙は、(古)フランス語からの借用となっているものであり、28語中13語とほぼ半数を占めている。これ以外の語彙は、古英語において元々存在していたものと考えられ、中期英語 (ME) を含めた形態変化を示したものが (23) となる。

- (23) a. *\*wardōnq*/*\*wardānq* (PG) > *weardian* (OE) > *warden* (ME) > *ward* 「防ぐ」  
 b. *\*þurþq* (PG) > *þorþ*<sup>25)</sup> (OE) 「村」  
 c. *\*harjabergō* (PG) > *herebeorg* (OE) > *herber/herberge* (ME) > *harbour* 「港、寄宿」  
 d. *\*bautanq* (PG) > *bēatan* (OE) > *beten* (ME) > *beat* 「たたく」  
 e. *\*friskaz* (PG) > *fersc* (OE) > *fresch/fersch* (ME) > *fresh* 「新鮮な」  
 f. *\*salq* (PG) > *sæl* (OE) 「ホール」  
 g. *\*bannanq* (PG) > *bannan* (OE) > *bannen* (ME) > *ban*<sup>26)</sup> 「禁止する」  
 h. *\*grēwaz* (PG) > *græg* (OE) > *grey* 「灰色」  
 i. *\*warjanq* (PG) > *\*werian* (OE) > *weren/werien* (ME) > *wear*<sup>27)</sup> 「守る」  
 j. *\*balluz*/*\*ballō* (PG) > *\*beall*/*\*bealla*<sup>28)</sup> (OE) > *bal/ball/balle* (ME) > *ball* 「玉」  
 k. *\*brūnaz* (PG) > *brūn* (OE) > *broun* (ME) > *brown* 「ブラウン」  
 l. *\*blēwaz* (PG) > *\*blæw*<sup>29)</sup> (OE) > *blewe* (ME) > *blue* 「青い」  
 m. *\*skinō* (PG) > *scinu* (OE) > *shine* (ME) > *shin* 「向こうずね」  
 n. *\*skipq* (PG) > *scip* (OE) > *ship/schip* (ME) > *ship* 「船」

このように、古英語から現代英語に残存している語彙の中には、*grey/brown/blue* といった色彩語がある。このような色彩語は、古英語の形態を保持する傾向があり、「白い」を意味するランゴバルド語起源のイタリア語 *bianco* が借用されることはなく、(24) で示すように古英語の形態を保持している。

- (24) *\*hwītaz* (PG) > *hwīt* (OE) > *whit/hwit* (ME) > *white*

英語における色彩語に関するこのような保守的な傾向は、ロマンス語において多くの色彩語をゲ

ルマン語から借用したということと反対の方向性を示すことは興味深い。しかしながら、調査を行った約半数の語彙が現代英語でも使用されているということは、(古)フランス語を通したゲルマン語起源の影響の強さをよく示していると考えられる。

## 5. 結語

以上、本稿では、10世紀までのロマンス語におけるゲルマン語の影響と、ゲルマン語起源のロマンス語から古英語への流入に関しての考察を行った。この考察により、次のことが指摘できると思われる。

- ・東ゲルマン語であるゴート語起源の語彙は、①東西ゴート語、②東ゴート語（主にフランス語・イタリア語）③西ゴート語（主にポルトガル語・スペイン語）からの影響を受けているものがある。
- ・西ゲルマン語に属する古フランク語と北ゲルマン語に属する古ノルド語起源の語彙は、主に古フランス語を通して各ロマンス語に拡散している。
- ・東ゲルマン語であるランゴバルド語起源の語彙は、イタリア語に強い影響を与え、他のロマンス語には余り拡散していない。
- ・イベリア半島のアラビア語、フランスの古フランク語、イタリアのランドバルド語のように、8世紀までにその地を支配していた言語の語彙が現代語まで残る。
- ・ゲルマン語起源の高頻度のロマンス語語彙は、ロマンス語起源のロマンス語と同様、ノルマン・コンクエストを期に古英語に流入している。
- ・色彩語に関する保守的な傾向を除くと、西ゲルマン語の古英語にあったゲルマン語の語彙よりも、ゲルマン語起源のロマンス語語彙が現代までよく残っている。

本稿では、ロマンス語におけるゲルマン語の影響について考察を行ったが、ロマンス語はゲルマン語以外にも、例えば、スペイン語・ポルトガル語・(イタリア語)におけるアラビア語・ケルト語、ルーマニア語におけるスラブ語、といった他言語族との言語接触がみられる。今後は、ロマンス語が影響を受けたこのような他言語族の語彙に関する考察を課題としていきたい。

**付記** 本稿は2016年8月7日、神戸市立六甲道勤労市民センターで開催された「欧州学フォーラム2016（創立10周年記念専門研究者会議）：ヨーロッパの言語と文化と社会」において、「ロマンス語語彙におけるゲルマン語の通時的影響」と題して口頭発表を行ったものに加筆・修正を施したものである。席上、貴重なご意見、ご助言を頂いた方々に深謝します。

## 註

- 1) 島岡 (1976:3) では、『もともと *romanicus* (ローマ風の) ということば自体が、当時ロマニアに侵攻したゲルマン人とロマニア人とを区別するものだった』とあり、この当時、ゲルマン人との多くの接触があったことを指摘している。
- 2) 各言語の初出の文献は次の通りである。  
ポルトガル語：(12C)  
スペイン語：『サン・ミリヤン注解』(*Glosas Emilianenses*) (9C~10C)  
フランス語：『ストラスブールの誓約』(*les serments de Strasbourg*) (842年)  
イタリア語：『ヴェローナの謎歌』(*indovinello veronese*) (8C~9C)  
ルーマニア語：(16C)
- 3) 西ロマンス語には、オック語 (Occ.)・カタルーニャ語・ロマンシュ語・ガリシア語などがある。
- 4) さらに、サルデーニャ語を南ロマンス語と分類することもある。
- 5) 東西ロマンス語を分類する特徴としては、名詞の複数形態の屈折型 (東：*rosa* → *rose* (I)/*rozã* → *roze* (R))・添加型 (西：*rose* → *roses* (F)/*rosa* → *rosas* (S/P)) や、母音間の無声子音の保持 (東：*sapone* (I)/*săpun* (R))・有声化 (西：*savon* (F)/*jabón* (S)/*sabão* (P)) などがある。
- 6) 島岡 (1976:11) によると、5世紀末のロマニア (ローマ帝国全般) の言語分布は、①ガロ・ロマンス語 (フランス・プロヴァンス語)、②イタロ・ロマンス語 (イタリア・サルデーニャ語)、③イスパノ・ロマンス語 (スペイン・ポルトガル・カタロニア語)、④レト・ロマンス語、⑤バルカノ・ロマンス語 (ルーマニア・ダルマチア語) であったとされ、②・⑤が東ロマンス語、①・③・④が西ロマンス語となる。
- 7) ランゴバルド語を話していた部族の主体は、ケルト人だと言われている。このことから推定すると、ランゴバルド語はゲルマン語とケルト語のピジンである可能性がある。
- 8) フランス語 *roche* は、古フランク語からの借用であるという説もある。
- 9) イタリア語の *spola* 「ポビン」は、フランス語の *espole* という同根語を持つが、これはイタリア語からの借用である。
- 10) *forra/sghembo/smaltire* は、ランゴバルド語起源という説もある。
- 11) *schietto* は、ゴート語 *slaiþs* からの借用であるが、古典ラテン語には *sl-* という連音がないため、イタリア語では *sch-* という音に変化した。
- 12) ポルトガル語にだけ借用されたものとして、*luva* 「手袋」、スペイン語だけのものとして、*cundir* 「広がる」などがある。
- 13) カタルーニャ語 *amainar* を通して借用。

- 14) 古プロヴァンス語 *brotar* を通して借用。
- 15) ポルトガル語はスペイン語から借用。
- 16) スペイン語では、イベリア語の影響から [f] が無音の [h] として現れる。
- 17) 「ポケット」を意味するフランス語は、同じ古フランク語 *\*pokka/\*pukka* を起源とする *poche* が現代語で使用されている。また、ポルトガル・スペイン語の *tasca* は「居酒屋」という意味であり、イタリア語とは異なる起源の語彙である。
- 18) *greppia* は、古フランク語起源という説もある。
- 19) *\*wangō* (PG) > *\*wankja* (Lan.) > *guancia*。このように、ゲルマン祖語の [w] は、イタリア語で [gw] という音に変化する。
- 20) ルーマニア語 *vest* は、ドイツ語からの借用の可能性がある。
- 21) 現代フランス語 *auberge* は、ゴート語起源からの借用である。
- 22) Bortolini et. al (1971) での頻度順位を使用している。
- 23) Maurice Swadesh の語彙統計学の順位では、*foresta* (52位)、*schiena* (88位)、*grattare* (117位)、*bianco* (175位) となっている。
- 24) 現代英語で使用されていないものも含んでいる。
- 25) *troop* は、古英語 *þorp* を起源とするが、*troop* 自体はフランス語からの借用語である。
- 26) *abandon* 自体は、古フランク語起源のフランス語からの借用である。
- 27) 現代語のこの意味においては、イギリスの方言に残っている。
- 28) 古ノルド語 *þollr* からの借用とする説もある。
- 29) 古フランク語 *\*blāw/\*blāo* からの借用とする説もある。

## 参考文献

- Bortolini, U., C. Tagliavini & A. Zampolli, 1971, *Lessico di frequenza della lingua italiana contemporanea*, Garzanti.
- Campbell, Lyle, 2013, *Historical Linguistics: An Introduction 3rd ed.*, Edinburgh University Press.
- Chaurand, Jacques, 1969, *Histoire de la langue française*, Presses Universitaires de France.
- Cortelazzo, Manlio & Paolo Zolli, 1979, *Dizionario etimologico della lingua italiana*, Zanichelli.
- Lapesa, Rafael, 1981, *Historia de la lengua española*, Editorial Gredos.
- Maiden, Martin, 1995, *A Linguistic History of Italian*, Longman.
- Mea, Giuseppe, 1994, *Dicionários Editora: Dicionário de italiano-português/português-italiano*, Porto Editora.
- Migliorini, Bruno, 1987, *Storia della lingua italiana*, Bompiani.

- Patota, Giuseppe, 2002, *Lineamenti di grammatica storica dell'italiano*, Il Mulino.
- Posner, Rebecca, 1970, *The Romance Languages: A linguistic Introduction*, Peter Smith.
- Posner, Rebecca, 1996, *The Romance Languages*, Cambridge University Press.
- Valle, Valeria Della & Giuseppe Patota, 2006, *L'italiano: Biografia di una lingua*, Sperling & Kupfer.
- Walter Henriette, 1994, *L'aventure des langues en occident: Leur origine, leur histoire, leur géographie*, Editions Robert Laffont.
- Wartburg, Walther von, 1944, *Französisches etymologisches Wörterbuch*, Basel.
- 島岡茂, 1967, 『ロマンス語の話』, 大学書林.
- 小学館ロベール仏和大辞典編集委員会, 1988, 『小学館ロベール仏和大辞典』, 小学館.
- 寺崎英樹, 2011, 『スペイン語史』, 大学書林.
- 直野敦, 1984, 『ルーマニア語辞典』, 大学書林.
- 山田秀男, 2003, 『フランス語史』, 駿河台出版社.

\* 資料

本稿で調査を行ったデータをゲルマン語起源ごとに資料として提示する。

- ・略号：ポルトガル語 (P)、スペイン語 (S)、フランス語 (F)、イタリア語 (I)、ルーマニア語 (R)、ゴート語 (Got.)、ランゴバルド語 (Lan.)、古フランク語 (O.Fra.)、古ノルド語 (O.Nor.)、古フランス語 (OF)、中期フランス語 (MF)、古イタリア語 (OI)、古英語 (OE)

<資料1: ゴート語起源>

PG	Got	OF/MF	V.Latin	L.Latin	M.Latin	Portuguese	Spanish	French	Italian	Romanian	意味
*andbahtlīq	*andbahti > ambaysada(O.Pro.) rēdan bandwa > banda (O.Pro.) *bandwjan *bega bramjan, braminnōn brikan kastan, kasts *lga-jredn raidjan	ambassade			ambaxada *arredare banda bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango	embaxada arrendar banda > F bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango > Cat.	ambassade bande bandit > I bramer briguer > I caste > Por déraper heume fange gaffe gai	ambasciata arredare banda bandito bega bramire brigare casta > Por. corredo déraper > F elmo fango forra galo garbo guercio lastricare melma nastro rocca schietto sgimbo smaltire spia spole stanga stecca/o tasso trescare	ambasada banda bandit bramar brigar casta corredo déraper > F elmo fango forra gafa galo garbo guercio lastricare melma nastro rocca schietto sgimbo smaltire spion stanga stecca/o tasso trescare	大使の職 家具脚座を備え付ける 集団 盗賊 つまらない煙囪 吠える 懸命に働く 血統 配備する 装備 機滑りする 銃兜 泥 峡谷 野傘 陶器 優美・魅力 斜裡の ハラストを積む 泥 への業振りをする リボン 糸巻き機 細粒な 斜めの 消化する スパイ ボビン かんぬき 細い棒・小枝 アナグラム もつれさせる もてなす 弱まる 着飾らせる 芽吹く 芽 広がる 刈り込む ガチヨウ ハイタカ 衣類・着広 ブドウのツル 引き出す 手袋	
*branzjāq *prekanq	*rapōna, *irēpōna *helmaz *fangō *faurns, *furch(Lan.) gafah > gaf(O.Pro.), *gahi(O.Fra.), *wahi(O.Fra.) garws *thwairfirs *malma, *melma(Lan.) *natilo *rokko(O.Fra.) > *rukkai(Got.) slaihs *silmbi(Got./Lan.) *smalijan(Got./Lan.) *sphaiha staka, stika pahsuts briskan *gajala arimaginon > amainar(Cat.) attaujan *brut > brotar(O.Pro.) *brut *kundjan *skairan, *skiran *gans *gabala, *gabala *fata *parra, *parrans sakan lola				ambaxada arrendar banda > F bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango > Cat. gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca > Fr.	embaxada arrendar banda > F bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango > Cat. gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca > Fr.	ambassade bande bandit > I bramer briguer > I caste > Por déraper heume fange gaffe gai guercio lastrar > last(Dut.) menacer rochet schietto sgimbo smaltire spia spole stanga stecca/o tasso trescare	ambasciata arredare banda bandito bega bramire brigare casta > Por. corredo déraper > F elmo fango forra galo garbo guercio lastricare melma nastro rocca schietto sgimbo smaltire spia spion stanga stecca/o tasso trescare	ambasada banda bandit bramar brigar casta corredo déraper > F elmo fango forra gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca schietto sgimbo smaltire spia spion stanga stecca/o tasso trescare	大使の職 家具脚座を備え付ける 集団 盗賊 つまらない煙囪 吠える 懸命に働く 血統 配備する 装備 機滑りする 銃兜 泥 峡谷 野傘 陶器 優美・魅力 斜裡の ハラストを積む 泥 への業振りをする リボン 糸巻き機 細粒な 斜めの 消化する スパイ ボビン かんぬき 細い棒・小枝 アナグラム もつれさせる もてなす 弱まる 着飾らせる 芽吹く 芽 広がる 刈り込む ガチヨウ ハイタカ 衣類・着広 ブドウのツル 引き出す 手袋	
*stakō *pahsuz *preskanq	*rapōna, *irēpōna *helmaz *fangō *faurns, *furch(Lan.) gafah > gaf(O.Pro.), *gahi(O.Fra.), *wahi(O.Fra.) garws *thwairfirs *malma, *melma(Lan.) *natilo *rokko(O.Fra.) > *rukkai(Got.) slaihs *silmbi(Got./Lan.) *smalijan(Got./Lan.) *sphaiha staka, stika pahsuts briskan *gajala arimaginon > amainar(Cat.) attaujan *brut > brotar(O.Pro.) *brut *kundjan *skairan, *skiran *gans *gabala, *gabala *fata *parra, *parrans sakan lola				ambaxada arrendar banda > F bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango > Cat. gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca > Fr.	embaxada arrendar banda > F bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango > Cat. gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca > Fr.	ambassade bande bandit > I bramer briguer > I caste > Por déraper heume fange gaffe gai guercio lastrar > last(Dut.) menacer rochet schietto sgimbo smaltire spia spole stanga stecca/o tasso trescare	ambasciata arredare banda bandito bega bramire brigare casta > Por. corredo déraper > F elmo fango forra galo garbo guercio lastricare melma nastro rocca schietto sgimbo smaltire spia spion stanga stecca/o tasso trescare	ambasada banda bandit bramar brigar casta corredo déraper > F elmo fango forra gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca schietto sgimbo smaltire spia spion stanga stecca/o tasso trescare	大使の職 家具脚座を備え付ける 集団 盗賊 つまらない煙囪 吠える 懸命に働く 血統 配備する 装備 機滑りする 銃兜 泥 峡谷 野傘 陶器 優美・魅力 斜裡の ハラストを積む 泥 への業振りをする リボン 糸巻き機 細粒な 斜めの 消化する スパイ ボビン かんぬき 細い棒・小枝 アナグラム もつれさせる もてなす 弱まる 着飾らせる 芽吹く 芽 広がる 刈り込む ガチヨウ ハイタカ 衣類・着広 ブドウのツル 引き出す 手袋	
*tōfō	*rapōna, *irēpōna *helmaz *fangō *faurns, *furch(Lan.) gafah > gaf(O.Pro.), *gahi(O.Fra.), *wahi(O.Fra.) garws *thwairfirs *malma, *melma(Lan.) *natilo *rokko(O.Fra.) > *rukkai(Got.) slaihs *silmbi(Got./Lan.) *smalijan(Got./Lan.) *sphaiha staka, stika pahsuts briskan *gajala arimaginon > amainar(Cat.) attaujan *brut > brotar(O.Pro.) *brut *kundjan *skairan, *skiran *gans *gabala, *gabala *fata *parra, *parrans sakan lola				ambaxada arrendar banda > F bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango > Cat. gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca > Fr.	embaxada arrendar banda > F bandido > I bramar brigar casta derrapar > F elmo fango > Cat. gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca > Fr.	ambassade bande bandit > I bramer briguer > I caste > Por déraper heume fange gaffe gai guercio lastrar > last(Dut.) menacer rochet schietto sgimbo smaltire spia spole stanga stecca/o tasso trescare	ambasciata arredare banda bandito bega bramire brigare casta > Por. corredo déraper > F elmo fango forra galo garbo guercio lastricare melma nastro rocca schietto sgimbo smaltire spia spion stanga stecca/o tasso trescare	ambasada banda bandit bramar brigar casta corredo déraper > F elmo fango forra gafa galo garbo lastrar ameaçar nastro > I rocca schietto sgimbo smaltire spia spion stanga stecca/o tasso trescare	大使の職 家具脚座を備え付ける 集団 盗賊 つまらない煙囪 吠える 懸命に働く 血統 配備する 装備 機滑りする 銃兜 泥 峡谷 野傘 陶器 優美・魅力 斜裡の ハラストを積む 泥 への業振りをする リボン 糸巻き機 細粒な 斜めの 消化する スパイ ボビン かんぬき 細い棒・小枝 アナグラム もつれさせる もてなす 弱まる 着飾らせる 芽吹く 芽 広がる 刈り込む ガチヨウ ハイタカ 衣類・着広 ブドウのツル 引き出す 手袋	

## ＜資料2：古フランク語起源＞

PG	O.Fra.	OF	V.Latin	L.Latin	M.Latin	Portuguese	Spanish	French	Italian	Romanian	意味
*bannaŋ	*ban, *bann	abandoner			abandonar	abandonar > F	abandonner	abandonner	abbandonare > OF	abandonă > F	見捨てる
*stakka, *stakken	*stakka	destachier			atacar > I	atacar	attacher	attacher	attaccare > OF	atacă	つなぐ
*banka, *banka	bank(OH.germ.)	bank			banco > I	banco	banque > I	banque > I	banca	băncă > F/I	保管所
*baro	*baro	baro	baro, baronem	baro, baronem	baro, baronem	varao, barão	varón, barón	baron	barone	baron	男性
*bastijana	*bastijan	bastir						bâtr > franc.(IV)			建てる
*balbaz	*balid	balit, bauid	baud-				baudet				ロバ
	*bisunnija, *bisun(n)i		*bisonium		bisoniu(m), bisoniare			besoin, besogne	bisogno > F		必要・仕事
	*blari	blarel					blaireau				アナグマ
*bléda, *blédo	*bläd	blet					blé				小麦
*blaitjana	*bléitan	blecier					blesser				傷つける
*bléwaz	*blö	blee, bleve, bief					bleu	blu > F	blu > F	blău > F	青い
*bundia	*bund, *obbunni	bonet			boneta	boné > F	blond	blond	biondo	blond > F	ブロンド
	*butt	bote	buttis			bota > F	bonnet	bonnet	boneta	boneta	緑なし帽
*burgs	*burg	botc	*burgus	burgus, burg(u)m		burgo	botte	botte	borgo	botă	長靴
*bautana	*bötan	bouter			botar	burgo	bourg	bourg	boutare > F		大きな村
	*brand	brandir			brandir	botar	bouter	bouter	buttare > F		投げ捨てる
*bréko	*bréka	breche, bresche			brandir	brecha	brandir	brandir	brandire		振り回す
*bruzdan	*brozlon				brecha	brecha	brèche	breccia > F	breccia > F	bréca	割れ目
	*brun	brun	brunus			brun	broder	broder	bruno	brun > F	刺繍する
*brnaz	*knif	canivet			brunus	canivete	canif	canif			ナイフ
*knibaz	*kausjan	choisir, colisir					choisir	choisir			選ぶ
*leusana	*kawa	çute + choe					chouette	chouette	ciavetta > F		鼻
	kupfe(MH.germ.) > kupphia(OH.germ.)					coifa	coiffe	coiffe	coffia	scufie	ヘアネット
	*galabo, *gahlabo	compaignon		cofiacufia(m)	compañero	compañero	compaignon	compaignon	compagno		仲間
	*kota	cote	compañio		cota > OF	cota > OF	cote	cotta > F	cotta > F	coapta	細かたびら
	*krappl(a)						crapaud	crapaud			ヒキガエル
	*kresso	resson					resson	resson	crecione > OF	creşon	クレンソ
	*kruppa	crope				grupa	croupe	croupe	gruppa	crupă	尻
	*dansön	dancer, dancier				dancar	danser	danser	danzare > F	dansă > F	踊る
	*daroth, *daroth	dart				darbo	darbo	darbo	darbo > F	dărda	投げ箱
*skerana	*skeran	descirer					déchirer	déchirer			引き裂く
	*skirpa, *skirpla					écharpe	écharpe	écharpe	sciarpa > F	esarfă	マフラー
	*skaut					escotilla	escotilla	escotille > S			甲板のハッチ
*krabitaz	*krebitja	crevice					écrivisse	écrivisse		crevete	ザリガニ
*sparwaraz	*sparwari	esprevier, esprever					épervier	épervier	sparviero	sparviero	ハヤブサ



*spehōn	*spiere	*spiere	*spiere	épiër	spiare	spiare	動物を探る
*magana	*magan, *mugan	desmaier	desmaier > OF	esmaier(OF)	dismagare	dismagare	無力にさせる
	*stalo	estalon		étalon	stallone	stallone	種馬
	*stoplon	estopon		étouffe	stoffs	stoff	布地
*faldistōlaz	*faldistōl	faldestuel, faldestoel	faldistoriu(m)	fautueil	faldistorio	faldistorio	肘掛け椅子
*falwaz	*filitir	fauve	faius	fauve	fuho	fuho	淡黄褐色
*fehu	*fehu	fief, feu, feu,	feudum, feodum, fevum, feum	feltre	feltro	feltro	フェルト
*flask	*flaska		flasco, flasca	fief	feudo	feudo	領地
*flapō	*flado	flaon	fladonem	flaon	fiasco	fiasco	小瓶
*flaq, *fladō, *flataz	*flāt	flater		flan	flan > F	flan > F	カスタードプリン
*fleukkon	*fliukka, *fliukka	fleche		flater		flāt	お世辞を言う
	*flaŋan	flātr		fleche	freccia > F		矢
	*forhist	forest, forēs	foresta, forestet(m)	flétrir			しおれさせる
*furbjānā	*furbjan	forbir		forêt	foresta	(forestier Adj)	森林
*furnjānā	*furnjan, *furnjan	fornir		fourbe	furbo > F		陰険な
*fodā	*fodā	fornir		fournir	fornire > F	furniza	支給する
*friskaz	*frisk, *frisk	fuere	fornaje	fournir	foraggio > F	furniz	飼料
*brēm- + *basja	*brambasja	fres, fris	frescus	frais	fresco	fresco	涼しい
*frank	*franc	framboise		framboise	frambuesa > F		ラズベリー
*hrukkaz	*hrokk	froc	flancus	franc	franco > F	franco > F	率直な
	*waddi	bage, gauge, guage	hroccus	froc			スポン吊り
*haupanā	*wala+*haupan	galoper		bage			担当
	*wraŋja	galoper	galopar, galopar	galoper	galopare > F	galopā	キャロップで走る
*wardnā	*warda(n)	garantir, garir	warantia	garance	garanza	garanta	赤みがかった
*wardna	re+*wardon, *wardum	garde	guardare	garantir > F	garantire > F	garantā	保証する
*wardon		guarder	*guardare	garde	guarda	gardian > F	警備
	*warnjan	guardian, gardien		garder	guardare	(garda N)	見張る
*waxsam	*wastil	guamir		gardien	guardiano	gardian > F	番人
*wost-	*wostjan, *wustjan	gaster		guamir	guamir	gamisi	備え付ける
*webnā	*wajel	gason, wason		gâteau	gâteau	ケーキ	ケーキ
*wasō	*waso(O.Fr.)	glider		gâter	guastare		甘やかす
*glidānā	*glidan	gontalon		gaufr	gaufr		ゴーフル
*gund+*fano	*gundfano, *gontanon	groppe, grape, crape	gontalao	gazon	glissare > F	gazon	芝生
*krappō, *krappa	*krappo			glisser	gontalone > OF	glisā	滑る
				grappe	grappolo > F		重旗
							房

*krappó, *krappa	*krappo	grapin							grappino	アンカー
	*krattón	grater							grattare	ひっかく
	*krawjan								gravr	よじ登る
	*grisljon	grisle							grèle	ひょう
*gréwaz, *grisa	*gris	gris		gris					grigio > OF	灰色
	*krusl			groselha > F					groselle	スグリの実
*wapsj, *weppó-	*wespa, *wapsa	wespe, wapce							guépe	スズメバチ
	*waiguro	gaire							guere	直る
*warjan	*warjan	guafir							guérir	癒す
*weró	*wera	guerre, guere		guerra					guerra	戦争
*wristiz	*wrist	gwestes							ghetta > F	ゲートル
	*g-								gu	ヤドリギ
*witana	*witan	guer		gular					guidare	案内する
*wis	*wisa	guisse, guise, vise		guisa					guisa	方法
*wapja	*happja	hache		acha					ascia	斧
	*haggja								hache	垣根
*hatjana	*hajjan	hair, hadir							hale	櫛目
*halló	*halla	hale							halle	市場
*haimaz	*haim	hamel		anca					hameau	小さな集落
*hanka	*hianka	flanc		anca					hanche	腰
	*haimgard			hangar					hangar	倉庫
	*hanot+et+on								hanneton	コガネムシ
	*hardjan	hardir, hardi		ardido					hardi	勇敢な
*harp-	*harpa	haate		arpa					arpa	ハーブ
*yasti	*haist	haate							hâte	急ぐこと
	*henward	heraut		arauto					heraldo, faraute	使者
	*halgro	hairon		airon					airón	サギ
*yals-	*haistre	hestre							hêtre	ブナの木
*rudana, *hredana	*hürt	hurter							heurter	ぶつかる
*haunibó	*haunitha	hunte							honte	恥
	*hultia, *hultia			onta(OS)					onta > OF	枕カバー・覆い
*hulisaz	*hulis	hous, hos, houk							house	庭
*gardo	*gardin	jardin		jardim > OF					houx	セイウキヒイラギ
	*janganon	jangler							giardino > F	
*sajsz	*iaith, *sajp	iaith, leit							leid	曲芸をする
	*leha	leite							laide > OF	醜い
*ikkónq	*lekkon	lege							lecare	醜渥
	*laubja	loge		lógia > I					loggia > OF	菰める
*hióbbjío	*lotja	louce, loce							louche	回廊
										お玉

*lukinjo	lucanne	lucenam	lucerna > F	lucerna	lucarne	lucernario	lucárna	天窓
*makõna	maçon	maçio, machio	maço	maçon	maçon	maçone > F	maçon	石工
*marhaz + *skalk	marchier		marchar > F	marchar > F	marcher	marchare > F	març(N)	歩く
*marzjiana	mareschal, marescal		marechal	mariscal > F	maréchal	maresciallo > F		元帥
*mastaz, *masta	esmarirr		marra	desmarrido(OS)	marrif(OF)	smarrirre	amar	紛失する・悲しい
*maisõ	*marre		mastro	mástil > OF	mät	marra > OF		テン
*murnaz	mest		moeno > F		mésange			マスト
*urgoli-	mesenge, masenge		orguho	orgullo	orgueil	orgoglio		四十雀
*parrukaz	noerne, muerne		parco	parque > F	parc	parco > F		陰気な
*puk, *puka-	orgoill		parcus, parricus		poche			傲慢
*hrempana	parc				rampere			公園
	rampere				rampere			ポケット
	Renart				rêche			違う
*kinn-	*Reinhart				renard > OF	renard > F		ざらざらした
*rausa, *rauza	*kinni				ricaner			狐
*raustjiana	ros				ricaneu			せせら笑う
*salwaz	*rõstjan				roseau			藁
*sala	rosir				rõtir			焼く
	sale				sale			汚い
	sale				salle			部屋
*salhõ, *salhõ	saule				saule			柳
*sauzaz	sor				saur			黄褐色
*saip	savon	sapo, sapone(m)	sabão	jabón	savon	sapone	sapun	石鹸
*haitana	sohaldier				souhalter			望む
*trap-, *tramp-	trape	trappa	trápola	trampa	trappe	trappola		落とし穴
*pikaz	*bõk				trébucher			つまづく
*strikana	*srikan				tricotier	tricot(N)	tricotá	編み物をする
	*trugil				troène			イボタノキ
*purpa	*thop				trop	tropeo > OF		あまりに
*rudõna, *rudana,	*trottõn				trotter	troitare		早足で進む
*tradjana	*trotiare, *troäre				troupe	troupa > F		部隊
*purpa	*trupp	trupp	trupe	troupa > F	troupe	troupa > F		フォーク状の先端
	*ripil				troupe	rebbio > OF		隊列
	*skera				troupe	schiera > OF		思慮分別
*sainpana	*srim			stien	tasca	senno		ポケット
	*taska				tasca	tasca		長柄の鎌
*wajpõ	*wajpanes(Got.), *wajpanjan(Fra.)		gadanha > S	guanãna				

## ＜資料3：ランゴバルド語起源＞

PG	Lan.	OF	V.Latin	L.Latin	Portuguese	Spanish	French	Italian	Romanian	意味
*balió	*balko, *balkon-		*blancus		balcão > I	balcón > I	balcon	balcone	balcon > F	バルコニー
*raup-								baruffa		喧嘩
	*blaih							biacca		鉛白
*blankaz	*blank	blanc	*blancus		branco	blanco	blanc	bianco		白い
*boron	*boro				buril	buril	burin	bulino		たがね
	*federa							federa		枕カバー・覆い
	*gram							gramo		袋れな
*kriþj	*kruþþia, *krippjal(Fra.)		*creppia					greppia		馬草粥
	grifan A.ted. + *granfia							grinfa		爪
	*krukkja		*crucea(m)					gruccia		松葉杖
*wada	*wad		*uadam		vau	vado	gué	guado	vad	大青
								gualcire		しわにする
*wangó	*wankja in+bestire							guancia		頬
								imbastire		伝説いをする
								manigoldo		悪党
*milþija	*milzi							milza		脾臓
	*muff				molo	moho		muffa		かび
								nappa		房飾り
	*knoþha							nocca		指関節
*balko	*balk *balko				palco > I	palco > I	palc > I	palco		足場
*balió, *balluz	*palla, *balla				bala > F	bala > F	balle > I	palla		弾丸
								predella		教壇
	*ranþja							ranno		灰汁
*riþ	*riþa							riþa	riþa	繻
	*hruzzan							russare		いびきをかく
								sberleffo		しかも面
	*scaffa							scaffale		棚
*skirmjana	*skirmjan	escharmouche			escarmuca	escaramuza > I	escharmouche > I	scarmuccia		前哨戦
*skirmjan	*skirmjan				escarnir > I	escarnir, escarnecer		schernire		あざ笑う
*skirmjan	*skirmjan				escámio > I	escarino		scherno		あざけり
*skirtana	*skerzan							scherzare		ふざける
*skirtana	*skerzan							scherzo		冗談

*skipa, *skeuhaz	*stiff(Lan.), *sciuk(Fra.) ancaasci- *wahrtari	eschu	esquife	esquife	esquif >	schifo sciancato sguattero smacco spaccare spalto spranga spruzare	schif	小型ボート 足が不自由な 血洗い 惨敗 亀裂を入れる 斜堤 かんぬき ふりかける
*stappaz	*stiarfa	estafeta	estafeta	estafiete >	staffetta	stamberg	伝令	
*stanzaz + *burgz	*stambarga						あばら屋	
*skinō	*sterz *skinko					sterzo	ハンドル	
	*sturm					stinco	すね	
	*strak					storno	群れ	
	*straufrinon					stracco	疲れた	
	*stucchi	estuque	estuque >	stuc >	stucco	strofinare	磨く	
*stukkija	*thampf				tanfo	stucco	漆喰	
	*turnpf				tonfo	tonfo	悪臭	
	*tauff(i)am				tuffare	zaino	浸す	
*tanbs	*zainjā				zaino	zanna	リックサック	
	*zazera				zazera	zazera	牙	
	*zakka				zecca	zecca	もじゃもじゃ髭 ダニ	

## ＜資料4：古ノルド語起源＞

PG	O.Nor.	OF	V.Latin	L.Latin	M.Latin	Portuguese	Spanish	French	Italian	Romanian	意味
	græiaa					carlinga	carlinga > F	agrès	carlinga > F		操帆具
	kerling			capanna		carlinga	carlinga > F	carlingue	carlinga > F	cabina	キャビン
	*seglja, *sigljana	singler, sigler				singlar	singlar	cingler			～に帆を向ける
	kriki							crique			入り江
	dúnn	duvet					duvet	duvet			綿毛
	*skiparn, *skipöng	esquipier, eschiper				equipar > OF	equipar	équiper	equipaggiare > F	echipa > F	装備する
	*austrá	east(OE)				este > F	este	est	est	est	東
	vik					guichè		guichet			窓口
	humarr			hummer	hummer			homard	omaro	homár	オマールエビ
	hol							houle		hulá	うねり
	jól	joli, jolif		*gaudivus				joli			かわい
	*mari	mare						mare			小さな池
	*mariskaz	maresc(O.Nord.) > *marisk(Fra.)						marécage			沼地
	*maihwaz, *maiwaz	moette						mouette			カモメ
	*nurþra	norht, north, norht				norte > F	norte > F	nord	nord	nord	北
	*westra	west				oeste > F	oeste > F	ouest	ouest > F	vest > G	西
		su, sud				sur > OF	sur > F	sud	sud	sud	南
	tangi	tengre		*tangicare				tanguer			縦揺れする
	þornbutr							turbot			イシビルラメ
	vágr	vague				vaga		vague			波



## **The Diachronic Influence of Germanic Languages on Romance Vocabulary**

The Lexicography of Old English and the Romance Languages Prior  
to the 10<sup>th</sup> Century

Takafumi UENO

The Roman Empire, which had ruled a broad region of Western Europe and part of Africa, divided into East and West in 395 C.E., and was invaded by Germanic races, with the West Roman Empire collapsing in 476 C.E. Linguistically, Vulgar Latin, which was used across various regions of the Empire, differentiated into each Romance language, making contact with Germanic languages such as Gothic, Old Frankish, Lombardic, and Old Norse. Through an analysis of cognate sets, this paper demonstrates how Romance vocabulary originating in pre-10<sup>th</sup> century Proto-Germanic remains in each of the modern Romance languages. Moreover, a large amount of Romance vocabulary entered into Old English from the Norman Conquest of England onwards, and the Romance vocabulary originating in Proto-Germanic naturally blended in with it. This paper examines to what degree Old English vocabulary that derives from Proto-Germanic replaced Romance vocabulary that originated from Proto-Germanic. It aims to display the diachronic influence on Romance languages that derived from the same ancestor as Germanic languages.